

2025年02月 現在

Fujitsu Software

WSMGR for Web APIサポート V9.6.0

WSMGR for Web APIサポート V9 は、WSMGR for Web V9のオプション製品です。本商品をWSMGR for Web V9に付加することで、メインフレームと接続し各種連携業務を行うためのインタフェースを提供するソフトウェアです。従来の基幹業務のソフトウェア資産に手を加えずに、メインフレームとWebアプリケーションを連携させた新サービスが容易に実現可能となります。

- APIサポート機能

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- シナリオ作成時

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- APIサポート機能

Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) /
Windows Server 2016(64-bit)

- シナリオ作成時

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows Server 2025(64-bit) / Windows
Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

1. Web API機能

(1) シナリオ作成機能

メインフレームの業務画面の遷移関係をシナリオとして定義化することで、メインフレームの業務画面をオブジェクト化し自動実行することができます。WSMGR for Web V9で提供されるシナリオ作成支援ツール「スクリプトエディタ」によりGUI操作で、メインフレームの画面操作を記録し、記録した画面からシナリオを自動生成することが可能です。

(2) シナリオ公開機能

作成したシナリオをWeb APIとして公開し、ユーザアプリケーションよりREST(Representational State Transfer)で呼び出すことが可能です。シナリオ経由でメインフレーム上の操作が自動実行され、各画面の任意の領域をJSON(JavaScript Object Notation)データとして取得できます。

(3) シナリオ実行機能

コマンドラインからシナリオを実行するツールを提供します。アプリケーションを開発せずにREST API経由でシナリオを呼び出すことができます。

(4) シナリオ実行画面出力機能

シナリオ機能の実行画面を生成する機能を提供します。HTML画面、Microsoft Power Appsで実行できるローコード用画面を出力できます。シナリオ実行画面を利用することで、アプリケーションを開発せずにREST API経由でシナリオを呼び出すことができます。

Microsoft Power Appsはバージョン3.23092.13で動作確認しています。

2. サーバAPI機能

サーバ上のアプリケーションからWSMGR for Webのマクロ機能と同等の処理を提供し、定型のオペレータ操作の自動化や繰り返し処理によるオペレータの操作を軽減することができます。サーバAPIはVBやC#などの.NET Framework用の言語を用いて記述します。

3. HTMLコンテンツ生成機能

メインフレーム画面を元に画面ソース(HTML/JavaScript)を自動生成できます。また、コネクタAPI機能を利用して、開発環境でローカルに実行することもメインフレームに接続することも可能です。

HTMLコンテンツ生成機能では、以下の3種類のコンテンツを生成することができます。

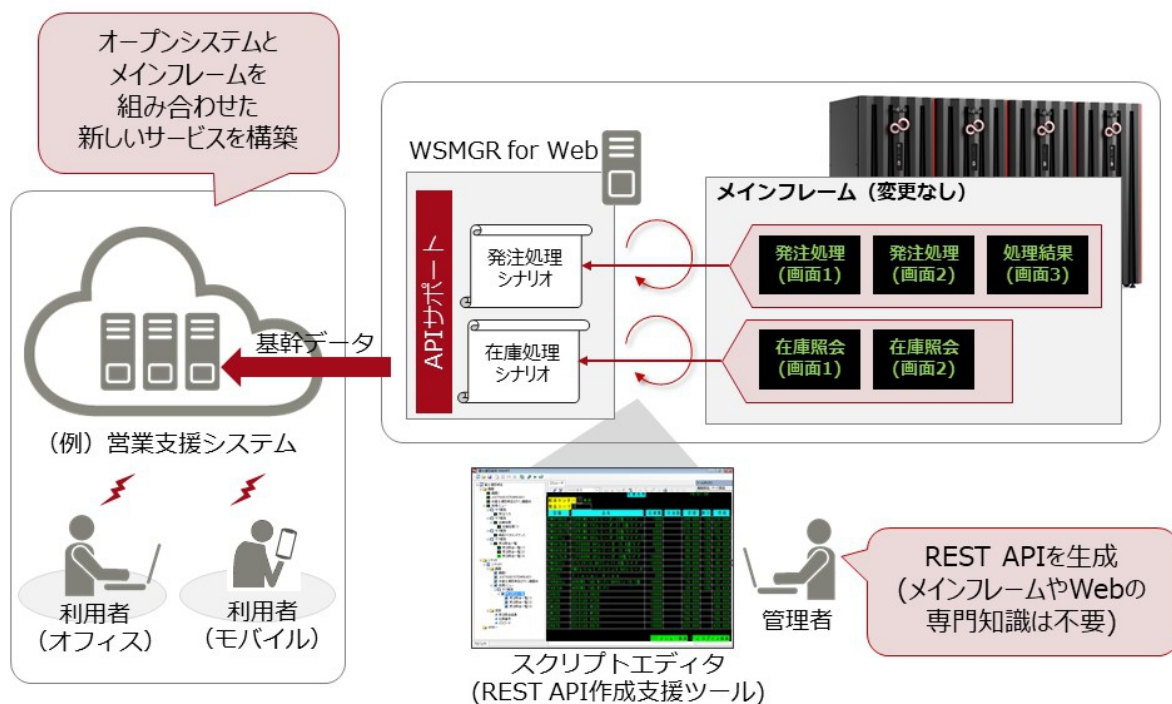
- ・ スケルトン：サーバとの通信をしないHTMLファイル
- ・ Webアプリケーション用：アプリケーションサーバ上で動作するWebページ (HTML/ASPX/JSP)
- ・ メインフレーム用：一般的なWebサーバに移行する前段階の運用を想定したHTMLコンテンツ

4. 接続形態

WSMGR for Web V9に準じます。

5. 利用分野/適用業務

メインフレームと連携するユーザアプリケーションを開発することができます。



新規機能

V9.5.0からV9.6.0 の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. スクリプトエディタの機能強化

動的コンテンツを生成する機能を追加しました。HTML編集なしで簡易的な画面遷移の動作を確認可能です。

2. Windows Server 2025に対応

動作環境としてWindows Server 2025に対応しました。

【メディア】

- WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0

【WSMGR for Webがプロセッサライセンスの場合】

- WSMGR for Web APIサポート プロセッサライセンス(月額) V9

【WSMGR for Webがサーバライセンスとクライアントライセンスの組合せの場合】

- WSMGR for Web APIサポート 1クライアントライセンス(接続パス)(月額) V9
- WSMGR for Web APIサポート 20クライアントライセンス(接続パス)(月額) V9

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD 等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ／レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. 月額ライセンスについて

V9より、従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。初期導入コストを抑制し、使用期間に応じた購入が可能です。インストール用のメディアは付属しておりませんので、別途メディアパックを購入してください。

3. ライセンスの組み合わせについて

本商品には、「プロセッサライセンス」と「サーバライセンスとクライアントライセンスの組合せ」の2種類の購入方法があります。WSMGR for Web V9で選択した購入方法に合わせて、本商品のライセンスを購入してください。

(1) WSMGR for Webが「プロセッサライセンス」の場合

「WSMGR for Web APIサポート プロセッサライセンス V9」を購入してください。プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要なライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

(2) WSMGR for Webが「サーバライセンスとクライアントライセンス」の組合せの場合

WSMGR for Web V9のサーバで定義する接続パス数に応じて、クライアントライセンスを購入してください。

- ・WSMGR for Web APIサポート 1クライアントライセンス（接続パス） V9
- ・WSMGR for Web APIサポート 20クライアントライセンス（接続パス） V9

サーバで定義する接続パス数とは、以下の定義数の合計です。

- シナリオを利用する場合： スクリプトエディタの「接続パス」の定義数
- サーバAPIを利用する場合： WSMGR for Webの接続アイコンの定義数

4. ライセンス購入時の注意事項

(1) 1つのサーバに対して、「プロセッサライセンス」と「サーバライセンスとクライアントライセンスの組合せ」を混在して利用することはできません。また、WSMGR for Webと本商品は同じライセンスを選択してください。

(2) スクリプトエディタをPCにインストールする場合は、スクリプトエディタを利用するPC台数分のWSMGR for Webクライアントライセンスと、接続パス数分の本商品のクライアントライセンスが必要です。

5. 購入例

(A) 購入例1

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記ようになります。

〔システム構成〕

- ・サーバ(4コア、1CPU 構成) 1台
- ・接続パス 20定義

〔対象製品と購入数〕

【プロセッサライセンスで購入する場合】

- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 → 1本

- ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 1本
 - ・WSMGR for Web プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数)×1台分
 - ・WSMGR for Web APIサポート プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数)×1台分
- 【サーバライセンスとクライアントライセンスの組合せで購入する場合】
- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 → 1本
 - ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 1本
 - ・WSMGR for Web サーバライセンス(クライアントライセンス用) V9 → 1本
 - ・WSMGR for Web APIサポート 20クライアントライセンス (接続パス) V9 → 1本(20接続パス)

(B) 購入例2

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記ようになります。

〔システム構成〕

- ・サーバ(4コア、1CPU 構成) 2台(それぞれ別業務)で運用
- ・接続パス 20定義

〔対象製品と購入数〕

【プロセッサライセンスで購入する場合】

- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分
- ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分
- ・WSMGR for Web プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数) ×2台分
- ・WSMGR for Web APIサポート プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数)×2台分

【サーバライセンスとクライアントライセンスの組合せで購入する場合】

- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分
- ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分
- ・WSMGR for Web サーバライセンス(クライアントライセンス用) V9 → 2本
- ・WSMGR for Web APIサポート 20クライアントライセンス (接続パス) V9 → 2本(20接続パス×2サーバ)

(C) 購入例3

以下のシステム構成でスクリプトエディタを使用する場合、購入対象商品と購入数は下記ようになります。

〔システム構成〕

- ・運用サーバ(4コア、1CPU 構成) 1台
- ・接続パス 20定義 (運用サーバで使用)
- ・開発用PC 2台 (PCにスクリプトエディタをインストールし接続パスをそれぞれ2つ定義)

〔対象製品と購入数〕

【プロセッサライセンスで購入する場合】

- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 →必要数分
- ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分

運用サーバ用：

- ・WSMGR for Web プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数)×1台分
- ・WSMGR for Web APIサポート プロセッサライセンス V9 → (4コア×1CPU×コア係数)×1台分

開発PC用：

- ・WSMGR for Web 1クライアントライセンス V9 → 2本(開発用PC ×2台)
- ・WSMGR for Web APIサポート 1クライアントライセンス (接続パス) V9 → 4本(2接続パス×2台)

【サーバライセンスとクライアントライセンスの組合せで購入する場合】

- ・WSMGR for Web メディアパック(64bit) V9.6.0 →必要数分
- ・WSMGR for Web APIサポート メディアパック(64bit) V9.6.0 → 必要数分

運用サーバ用：

- ・ WSMGR for Web サーバライセンス(クライアントライセンス用) V9 → 1本
- ・ WSMGR for Web APIサポート 20クライアントライセンス (接続パス) V9 → 1本(20接続パス)

開発PC用：

- ・ WSMGR for Web 1クライアントライセンス V9 → 0本(開発用PC×2台) (注)
- ・ WSMGR for Web APIサポート 1クライアントライセンス (接続パス) V9 → 4本(2接続パス×2台)

注：WSMGR for Webクライアントライセンスは2本(開発用PC×2台)必要ですが、サーバライセンスにクライアントライセンスを16同梱しているため、購入数から除外することができます、また、サーバライセンスに含まれているクライアントライセンスのうち未使用分をスクリプトエディタ用のライセンスとして使用することができます。

6. V9.0.0以降からのレベルアップについて

V9.0.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新レベルを提供します。(お客様からのご要求が必要です。)

- ・ WSMGR for Web APIサポート V9.0.0/9.1.0/9.3.0/9.5.0

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

7. V8からのバージョンアップについて

以下の一括ライセンスをお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン／レベルを提供します。(お客様からのご要求が必要です。)

バージョンアップ後もライセンス形態は一括ライセンスのままととなります。

- ・ WSMGR for Web APIサポートV8

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン／レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください

8. ダウングレード使用について

本商品のライセンスを購入することにより、本商品の旧バージョンを使用する権利を得ることができます(以降「ダウングレード使用」とします)。

「ダウングレード使用」を適用する際には、旧バージョンの商品のインストール媒体をお客様が既に購入されていることが前提となります。

購入が必要なライセンス数については、本商品のライセンス購入方法にしたがってカウントします。

なお、ダウングレード使用権を用いて、1つのライセンスで本バージョン商品と旧バージョン商品を同時に使用することはできません。

また、本商品の次バージョン以降を使用する権利はありません。

「ダウングレード使用」可能な商品は、以下のとおりです。

- ・ WSMGR for Web APIサポートV8

1. 実行環境として必要な商品（必須）

本商品の実行環境として、以下の商品が必須です。

- ・ WSMGR for Web V9

注1：コマンドラインからシナリオを実行する場合は、WSMGR for Web V9.1.0以降が必要です。

注2：HTMLコンテンツ生成機能、シナリオ実行画面出力機能を利用する場合は、WSMGR for Web V9.5.0以降が必要です。

なし

1. Windows OS(64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)
- Windows Server 2025(64-bit)

2. WSMGR for Web APIサポートとWSMGR APIオプションの違い

本商品はWSMGR APIオプションとは異なる商品です。提供するAPIが異なるため、WSMGR APIオプション用のアプリケーションは動作しません。

3. 前版との違いについて

[V9.5.0との比較]

特にありません。

[V9.3.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

(1)APIサポート機能

- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2

(2)シナリオ作成時

- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 8.1

[V9.1.0との比較]

特にありません。

[V9.0.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

(1)APIサポート機能

- ・ Windows Server 2008 R2

(2)シナリオ作成時

- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7

[V8.0.0との比較]

- ・ 従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。

お客様向けURL

- ・ ソフトウェア：富士通（WSMGR for Web）

本商品の詳細情報、サポート期間を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/applications/applications/wsmgrweb/>

- ・ ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>